2012年7月号

OSAKA FOOTBALL ASSOCIATION

Osaka Referee
強化育成通信

発　行
(一社)大阪府サッカー協会審判委員会
強化育成部長　中川毅
強化育成通信担当　神谷遼平
お問合せ　大阪府サッカー協会審判担当
ofa-shinpan.jimu@peach.ocn.ne.jp

「大阪トレセンの意義とは」

（一社）大阪府サッカー協会　審判委員会　インストラクター部長　加藤厚人

大阪トレセンは 2007 年から、3 級インストラクター(以下 INS)、3 級審判員(以下 REF)の強化育成を目的に日本協会助成事業として始まった。

内容は、日本協会派遣 1 級インストラクターがダイレクター(以下 DIR)としてトレセンを総括し、DIR からのレクチャー、INS のプレゼン、プラクティカルトレーニング、試合分析（ビデオ)、INS 作成の競技テストなど充実した内容で、しかも INS と REF がレクチャーする、されることによりお互いの相乗効果が期待されている。

トレセンの位置づけを明確にするため、先につながる制度を念頭に 3 年前から体系立てた。INS はトレセンで経験を積みその年度末に 2 級昇級審査を受験、REF は強化育成部で参加候補者を人選し、2 級昇級へ向けステップアップすることを目的としている。

さらに効果を増すために昨年からは年 3 回開催とし、うち２回を 3 級インストラクター更新講習会としている。このことにより多くの参加者が大阪トレセンを活性化させている。2007 年以降、トレセン経験を積んだ INS・REF は大阪サッカー発展に寄与している。

2012年大阪トレセンにおいて
加藤インストラクター部長の講義

＜過去の大阪トレセン＞

2007 年 12 月開催　於：府立枚方高校　DIR：森津(JFA)　INS:中川佳裕・中川毅
REF：池田明喜広・岩崎智広・寺本浩史・浜本祐介・大原謙哉・谷本涼

2008 年 12 月開催　於：府立枚方高校　DIR：林(JFA)　INS：加藤厚人・大野順之
REF：浜本祐介・原健二・福井英三・山本大将・村上岳美・池田美智子

2009 年 12 月開催　於：府立枚方高校 DIR：広岡(JFA)　INS：篠原隆司・間　明美
REF：岡征鷹・藤井貴也・廣瀬成昭・近田智恵美

2010 年 6 月・9 月・12 月　於：大阪学院大千里山、伊丹高校・J-GREEN 堺(9 月のみ)
DIR：6 月三宅(JFA)、9 月・12 月西岡(JFA)　INS：大原克則・菅完次
REF：岡征鷹・下石康太・廣瀬成昭・白石透

2011 年 7 月/9 月/12 年 1 月開催　於：大阪学院大千里山　DIR：西岡(JFA)　INS：大野順之・北村修一
REF：村上岳美・平野力・冨田浩司・池田明喜広

2012 年 6 月/9 月/12 月(予定) 開催　於：大阪学院大千里山　DIR：6 月加藤(2 級 INS)　INS：塩見哲也・黒島有希
REF：福井英三・籾田裕一・田代喜弘・鷲尾里梨・兼松春奈(第 1 回のみ)

●第 1 回大阪府審判トレセンに参加して(7/14 開催)　（3級　籾田裕一氏）

今年度の大阪トレセンが大阪学院大学千里山キャンパスにてスタートしました。午前中にレクチャーやプレゼンテーション、筆記試験を受け、午後からは U-15 の試合で主審を担当。レフェリングの内容は情けなくなるぐらいに悪いものとなってしまいましたが、自分のレフェリングを初めて映像で記録いただき、終了後の反省会では私自身もいつも以上に客観的に振り返ることができました。今回の課題を次回のトレセンや次のステップに進むため、そして担当させていただく試合においてプレーされる競技者のために、今夏で改善したいと思います。

●ユース審判員観戦研修会(6/2,3 開催)

6/2,3 にユース年代の審判員を対象とした研修会が行われました。延べ 17 人のユース審判員が参加され、非常に有意義な研修が実施できました。近い将来、この中から大阪を引っ張っていく審判員が数多く排出されることを期待しています！！

・プロジェクターを使った試合の分析はとてもよかったです。(高 2)
・改めて試合をコントロールする審判の難しさを実感しました。(高 2)
・去年も参加させてもらい、今年３級に上がってまたいい経験になりました。(中 2)
・レベルが高く裁きづらい試合の中でレフェリングするのを見て審判の心理や基準などが良く分かりました。僕は選手なので、毎試合、今日のことを活かしてレフェリーとは良好な関係を築きたいです。(高 2)
・いろいろ勉強になったのでこれから審判するときに活かしたい。(高 1)

後日 7/26 のユース実技研修会での全体写真

2012年審判派遣レポート特集

●AFC U-13 女子サッカー大会 2012 審判コース

（3級　鷲尾里梨氏）

・派遣期間：6/3(日)～6/15(金)
・派遣先：中国(南京)　Jiangning Training Centre
・審判コース参加国：中国・韓国・台湾・北マリアナ諸島・日本
・実施内容
6/4(月)～6/8(金)教室での講義、プラクティカル
6/9(土)～6/14(木)大会を通しての実践(主審・副審・第4の審判)

・大会を通しての感想
1日1人1試合のため、5日間の大会を通して大きな身体の負担や疲労はなかったように感じる。プレーを見ると日本・中国・韓国はレベルが高かった。アジアの中でこの年代でのトップレベルのチームと同じピッチに立ち、関わり、レベルの高さを強く感じた。講義やプラクティスで行ったことを結構チャレンジできたのではないかなと思う。自分の割り当て外の試合は余裕をもってしっかり観戦することができたため、人のレフェリングを見ることで、すごいなと思う点や、ここは直さなくてはいけないなという改善点が外から見ていて明確なので、実践だけでなく観ることの重要性を感じた。

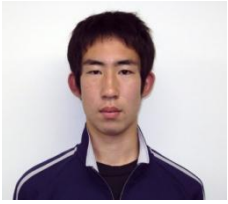
現地フィットネステスト後の写真
中央に鷲尾氏

私自身が正しいと思っていてやっていたようなことも、この大会を通して必要ないものも多く、ちゃんと意識して理由もあって行っていたことも必要ないことであったりしたため、審判として試合に臨み、審判として何ができるのか・何をすべきなのか・審判とはどのような立場なのかを深く考えさせられた。講師の方が言ってくれたことがすべて正しく、全世界でそうすべき必要があるのかと言ったらどうなのかとは考えた。言われたこと、教えられたことをしっかり受け止め、理解するのはとても重要だと思うが、すべてを鵜呑みにしてしまうのではなく、年代や状況など様々な事象や要素に応じて自分自身でうまくやっていきたいと思う。

修了証を持っての集合写真
前列左から2人目に鷲尾氏

●2002FIFAワールドカップ10周年記念事業

（3級　道山悟至氏）



私は、6月30日～7月1日に大阪府のチームの帯同審判員として参加させて頂きました。この事業では2002年に開催された10会場の都道府県の代表や韓国、ブラジル、ドイツのU－10の子どもたちが交流し、試合をしました。初日には、交流会やＪリーグ観戦をしました。「明日は日産スタジアムで笛を吹くことができる」と思ったら、とてもわくわくしてたまらなかったです。審判研修会では、正しい再開方法や選手の意図の見極めなどをターゲットとして試合に臨むよう指導されました。

そして2日目、初めてのスタジアムの入場に緊張感と高揚感に包まれました。試合では、まず韓国 対 神奈川の第一試合を担当させて頂きました。初の国際試合でコミュニケーションの面に不安がありました。試合前に選手と話そうと思って、私の聞き苦しい英語もどきを韓国出身の子どもに話したら、発音のきれいな英語が返ってきました。やり取りができたと勝手に私は思っています。韓国では英語の教育が日本よりも優れていることを実感しました。実際、コミュニケーションの面については、ジェスチャーなどで解釈してくれるので、不安なことはありませんでした。

試合中、小学生はひたむきにボールに向かってプレーするので、意図せず、相手を蹴ってしまったり、ぶつかったりすることがよくあります。その見極めの目を今回の試合で磨けたと思います。今回、最も勉強になったことの一つは、補助審判員をしていた時に、交代要員がフィールドプレイヤーのユニフォームを着ていたのにキーパーグローブをつけて交代しようとしていました。これっていいのかなって思いましたが、危険ではないと判断してつけたままで交代を認めました。試合が終わってインストラクターに聞いたところ、私が競技規則のガイドラインをしっかり読んでいなかったことが分かりました。競技規則を理解したうえでコモンセンスも重要だと言われたことです。

また、新しい審判の輪も広がったり、昨年に全日でお世話になったＪＦＡインストラクターの方と1年ぶりに再会したり、オフ・ザ・フィールドの面でも充実した2日間となりました。最後になりましたが、このような大変、貴重な経験をさせて頂きましたことを大阪府サッカー協会のスタッフならびに関係者の方々に感謝致します。この経験を通じて課題も見つかり、さらに上級審判員になりたいという意欲が高まりました。引き続きご指導のほどよろしくお願い致します。

強化育成部今後の予定

8月17日（金）～19（日）
　神鍋4種/女子/ユース研修（神鍋）
8月25（土）、26（日）
　育成部合宿研修会
9月6日（木）　19時
　2級審判研鑽会（大阪協会）
9月20日（木）
　育成部月例勉強会（大阪協会）